2019 TAJIMI JC
Just do it.
行動を興せばすべてが変わる！
今こそ踏み出せ希望溢れるまちを目指して!!

12
December2019

JCNEWS
一般社団法人多治見青年会議所２０１９年度

～想いを繋ぐ～

〈荒地俊暁卒業生より〉

２０１４年４月に社命により多治見に転勤してきました。全く初めての土地のため当時の私の毎日は家と会社の往復のみ。一人娘が幼稚園入園前ということもあり度々妻子は実家富山に帰っていましたが、そんな時私は一人で居酒屋へ行くのみ。ただ、富山青年会議所に所属しておりアテンダンスのため多治見青年会議所の例会に何度か参加することがきっかけで、２０１５年多治見青年会議所に入会しました。

入会によって一転。一人で居酒屋に行くゆとりなどは勿論ありません。週何回顔をあわすんでしょうか。しかも、メンバーは多治見を代表する企業の経営者やエース。青年会議所でなければ他県から来たただのサラリーマンの私にはこれほどの仲間に巡り合えなかったと思います。

そして、単に仲間が増えるだけではなく、青年会議所は共に成長できる場所です。特に委員長を引き受けたことは何にも代えがたい経験です。失敗の連続。辛くて辛くて仕方がありませんでした。どの失敗も恥ずかしいものばかりです。でもどれも自分の欠点の気づきの機会であり学びとなりました。筋トレと同じで負荷があるからこそ成長ができるのだと思います。そして、真剣に取り組むからこそ、色んなドラマがあり楽しさに繋がり、仲間同士の絆が生まれてくるのだと思います。

現在は静岡県三島市に住んでおり遠くなってしまいましたが、たまには多治見に参りますので、その時は仲間に入れてください。また、逆にお近くにお寄りの際はぜひご連絡ください。５年間大変お世話になりました。関わってくださった皆様に、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

〈牧田充広卒業生より〉

私がＪＣ生活７年間で学び、後輩へ伝えたいことは、２つあります。１つは、自分が思ったことをはっきり伝えることです。私自身、入会当初は例会も参加しない、先輩の話は真面目に聞かない。今から思えば最低な新入会員だったと思います。そんな私のターニングポイントは委員長を受けた時です。自分の考えや想いをはっきり言わなければ、委員会も成立しないし、当然理事会でも戦えない訳ですから、頭の中で整理できてないことまでどんどん先輩にぶつけました。そんな私の考えを具現化してくれた当時の担当副理事長、常任理事の先輩には本当に感謝しています。またその頃から何を考えているか分からない牧田から、どんどん頭が禿げだした牧田へと変貌も遂げていきました。「おい、ハゲ！」なんて、入会当初の私では言わせないオーラを出していたし、言った矢先にすぐケンカになっていたと思います。これも自分自身の考えを人に伝えたことによる変化だと思うし、周りも牧田という人物を理解した結果だと思っています。だからこそまだＪＣ生活がある後輩には、どんどん自分の考えや想いをぶつけていただきたいと思います。そうすれば誰かが受け止め、自分のポジションが必ずできると思います。

２つ目は、時間の使い方を勉強したことです。私自身、委員会で深夜０時を回ることは日常でしたし、３・４時なる日もあったと思います。でも仕事は休めない。身体はボロボロ、頭はどんどん薄くなる。そんな負のサイクルから脱却するため、私は部下に自分の仕事を半分渡したりしてなんとか過ごしていました。今から思えば、それも部下を教育する良い機会でしたし、自分自身も２４時間をどのように使うかを本当に考えることができました。最近、「忙しいから委員会や例会にいけません」みたいな声を耳にします。行きたくないなら、仕方がないと思う反面、行きたくなるような設えをすれば良いと思います。ただ、どこかで仕事のせいにしていないかな、本当に仕事で心を亡くすほど、忙しいのかなと感じます。要は時間の使い方だと思います。どうしたら定められた時間を有意義に過ごせるかが大事です。全てを捨ててまでＪＣをやれではなく、限られた時間の中でどれだけ全うできるかが大事だと思います。

最後にたぶんであってほしいですが、牧田は怖くて、触り難い存在だと思っているかもしれませんが、若干違います。たぶん優しいです。触ってみるとトゲは柔らかいと思います。最近、ＪＣ関係からのお誘い電話が鳴らないのが、少し寂しい気持ちがあります。たまにはお誘いをお待ちしております。そして７年間、ＪＣ活動をさせていただけた、会社、そして家族に感謝しています。ありがとうございました。

〈田財千裕卒業生より〉

２０１３年に歴史と伝統のある多治見青年会議所に入会させていただき、７年が経過しました。入会同期を含めて、多くの先輩・後輩、そして良き仲間に恵まれ、楽しく実りのあるＪＣ生活であったと感謝しております。まずは卒業にあたり、皆様に深く感謝するとともに、皆様と一緒に活動できた事、心から誇りに思います。

皆様にお伝えしたい事は、ＪＣを楽しんでやっていますか？楽しくないならＪＣじゃない！これに尽きると思います。毎年、毎年役職が変わり、ＬＯＭ内外で様々な経験をさせていただく中で、楽しい事ばかりではなく、つらい事や苦労した事も多くありました。その機会の中で、多くの方々と出会い、かけがえのない仲間を作れた事は、今後の人生において貴重な財産になったと思います。しかし、そんな経験も中途半端な気持ちでやっていては、得るものは何もありません。議案構築や実施する事業、どれも一人ではできないものであり、やらされている感覚があると本当につまらないものです。まずは自分自身が真剣に取り組み、他の委員会事業や岐阜ブロック、東海地区の事業にも積極的に携わる事がＪＣを楽しむ第一歩だと感じます。私は本年度で卒業ですが、皆様もＪＣ活動の出来る期間は４０歳までと限られています。だからこそ、限られた機会を大切にし、毎年の役に全力で取り組んでいただきたい。そしてその経験は必ず自分の力となり、将来の糧となります。また自分自身の殻は自分ではなかなか破れないものですが、ＪＣには志を共にする仲間がいます。時には追い込み、時には支え、時には共に酒を酌み交わし、切磋琢磨して最高の友情を育む事で楽しいＪＣ生活につなげていって欲しいと思います。

最後になりますが、あっと言う間の７年間という青年会議所生活で、かけがえのない時間を一緒に過ごしてくださったメンバーの皆様、そして、支えてくれた家族、迷惑をかけた会社に心より感謝を申し上げます。そして、今後も現役の皆様が、愛するこのまちのために、愛する地域のためにご活躍されます事をご期待申し上げ、送る言葉とさせていただきます。

「Ｊｕｓｔ ｄｏ ｉｔ． 行動を興せばすべてが変わる！今こそ踏み出せ希望溢れるまちを目指して！！」

今まで本当にありがとうございました。

ＪＣＩクリード

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth' s great treasure lies in human personality;

and That service to humanity is the best work of life.

ＪＣ宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために 率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ JAYCEE は 社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

一般社団法人多治見青年会議所
［事務局］〒507-0831 岐阜県多治見市新町 1-23 多治見市産業文化センター 4F
TEL:0572-23-5229 FAX:0572-24-0227 E-mail:info@tajimijc.com